

## 「パルケット」25周年記念展

◎ スイス・チューリヒで創刊された「パルケット」誌はユニークな作りで知られる。評論の筆者選りからデザインまでの編集を現代美術家自身が担当し、希望者には当の作家の作品も販売される。年3冊のペースで発行され、部数が1万部、作品頒布は30~100点で、1点30万円前後で売られる。その同誌が今年で創刊25周年を迎えたのを機に、雑誌のバックナンバーと頒布作品200点を集めた「パルケット・エディションズ」展が26日まで金沢21世紀美術

館で開かれている。

作品の展示では写真と版画が多いが、B・ナウマンのビデオ作品や、J・クー  
ンズ「風船の花(黄色)」=写真=、  
艾未未アイウエイウエイの金色のハエたたき、森万里子のフィギュアといったオブジェ



類も見られる。驚くのがG・リヒターの油彩小品で、それぞれ図が異なり、1点ものの値打ちがある。過去四半世紀の美術の歩みを示す作品群は、作家たちが凝らしたアイデアがおもしろく、現代美術の複数性についても考えさせる。

YOMIURI SHIMBUN, Tokyo,  
Sep 17, 2009 (circulation 13.9 mio. copies)

On PARKETT's exhibition at the Kanazawa Museum, Japan